

次期田原市総合計画策定にかかる

まちづくり市民会議

【健康福祉・教育文化部会 提言書】

令和5年4月



【はじめに】

私たちが4回にわたり意見交換をした「まちづくり市民会議【健康福祉・教育文化部会】」の結果をとりまとめ、報告するものです。

この内容が次期総合計画に生かされるとともに、市民視点のまちづくりを具体的に進めていくことを期待します。

【部会員氏名】 ※50音順

青山 由尚
太田 孝雄
藤城 啓丞

伊藤 明宣
河合 武彦
山田 佳江

今井 史将
鈴木 真弓
山本 真一郎

1 健康福祉・教育文化部会の検討領域

健康福祉・教育文化部会で検討した領域は、「健康づくり、医療、地域福祉、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、社会保障、学校教育、生涯学習、スポーツ、青少年健全育成、芸術文化、文化財」に関することです。

2 私たちが未来に伝えたい「田原市の宝」

私たちが感じている「未来に残したい田原市の良さ」「田原市の宝だと思うもの・こと」について意見交換を行いました。各部会でも出された意見を、健康福祉・教育文化部会の検討領域において整理・集約すると次のようになります。

①助け合える地域のつながり・あたたかい人間関係

田原市は、近所の人同士やコミュニティにおけるつながりが強く、助け合い・支え合いができるあたたかな人間関係があるまちです。また、高齢者が元気で、地域コミュニティの様々な場面で活躍しています。

②ライフステージに応じた保健・医療・福祉の支援体制

地域に医療機関があり、病気になっても安心して医療にかかることができます。小児医療機関や高齢者施設など、各ライフステージに応じた医療・福祉施設があります。

③子どもたちが心身ともに健やかに育まれる環境

保育園、学校、図書館などの子どもを取り巻く環境が充実しています。田原市民まつり、田原凧まつりなどの市民・地域が育んだイベントや、地域コミュニティの活動などをつながりあいながら、子どもたちの郷土愛が育ち、心身ともに健やかに育まれています。

④祭り・偉人・文化・伝統が受け継がれる心

田原市は、渡辺崋山や糟谷磯丸などの偉人を輩出している地域であり、田原祭りの昼山車など、伝統ある多彩な地域の祭りも継承されています。地域の文化財が大切に保存され、市民にも文化を大切に作る心があります。

⑤スポーツを振興できる充実した環境

運動公園や競技場、ハイキングロードなどが整備されており、サーフィンやトライアスロン、サイクリングなどの様々なレジャー、スポーツができる環境があります。

⑥女性がいきいきと暮らすことができる環境

男性と女性がともに責任や役割を家庭・地域・職場において分かち合える環境があります。

3 「田原市の宝」を未来に伝えるための“不安”や“期待”

前ページで示すような「田原市の宝」を未来に伝えていこうとすると、現在の田原市においては次のような不安や期待があります。

| 田原市の宝 | 区分 | 主な内容 |
|---------------------------|----|--|
| ①助け合える地域のつながり・あたたかい人間関係 | 不安 | ・ボランティアや地域組織等の担い手不足、高齢化 ・近隣に住む人がわからない、地域のつながりの希薄化 ・若い世代、現役世代の地域活動への不参加 |
| | 期待 | ・地域活動におけるデジタル機器の活用 ・他の自治体よりも地域のつながりが強いという特性 ・高齢者の活躍 |
| ②ライフステージに応じた保健・医療・福祉の支援体制 | 不安 | ・サービス利用は増える見込みだが福祉、医療関係の人材は不足 ・高齢者の増加、サービス利用者の増加 ・医療・福祉サービスの地域格差 |
| | 期待 | ・全世代にわたる共生社会づくり ・高齢者の活躍 |
| ③子どもたちが心身ともに健やかに育まれる環境 | 不安 | ・少子化による子ども、児童生徒の減少 ・保育士の不足や教員の働き方改革 ・子育て、教育環境の格差拡大 ・子どもの遊び場や多世代交流の場の不足 |
| | 期待 | ・潜在している保育士などの専門職の活躍 ・田原市の地域特性を活かした教育 ・ICTの活用や施設の複合化など効率化・有効活用 |
| ④祭り・偉人・文化・伝統が受け継がれる心 | 不安 | ・祭りや伝統・文化、地域の偉人等が継承されにくくなっている ・コロナ禍で縮小した祭り、イベント |
| | 期待 | ・ふるさと教育 ・SNS や VR、YouTube、メディア(ドラマ)など発信方法の多様化 |
| ⑤スポーツを振興できる充実した環境 | 不安 | ・スポーツ人口の減少 ・スポーツツーリズムに対する市民の意識、理解の不足 ・スポーツ施設の維持管理や整備状況 |
| | 期待 | ・サーフィンのオリンピック種目入り等、サーフトアウンの価値向上 ・国際的なスポーツの活性化(サーフィン、トライアスロン、オフロードトライアスロン、マラソン等) |
| ⑥女性がいいきと暮らすことができる環境 | 不安 | ・男女が子育てと仕事を両立するための制度(産休・育休) ・性別に基づく様々な格差 |
| | 期待 | ・若い世代の男性への家事・育児等に関する教育 ・女性の就労の場 |

4 「田原市の宝」を未来に伝えるために、今、取り組むべきこと

健康福祉・教育文化部会では、前ページであげたような不安と期待を踏まえ、「今」何に取り組んでいくべきなのか、今後 10 年間の総合計画を見据えた取組のアイデアを次のように提案します。

特に実施すべきだと考える事項は★マークのものであり、優先的に取り組むことを期待します。

田原市の宝① 助け合える地域のつながり・あたたかい人間関係

市民の取組案

- 地域に対してみんなで関心を持ち、声をかけあう。地域活動に参加し、一人ひとりがマナー、ルールを守るように心がける。
- 新しい人をむかえ入れる雰囲気づくりをする。
- 地域住民が中心となった“お助け隊”を結成し、活動する。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- SNS 等を使って、地域のつながりの大切さ、コミュニティの重要性について伝える。
- ★ 市民館などを活用し、子どもや高齢者、障がい者等、誰もが一緒に集まることができる場所をつくる。
- 若い世代・現役世代の住民がコミュニティ協議会・自治会、お祭り、公園の除草等、地域活動に参加しやすくなる工夫(負担の軽減、やりがいの創出、活動の見直し等)を行い、アピールする。
- ボランティア活動をポイント制にするなどして、地域活動に取り組むことで景品がもらえるなどの特典をつくる。

行政の取組案

- ★ 地域活動におけるデジタル環境の整備を支援し、デジタルツールを活用しやすくする。
- 隣の地域との共同作業など、広域的なコミュニティ活動を展開しやすくする。

田原市の宝② ライフステージに応じた保健・医療・福祉の支援体制

市民の取組案

- 健康寿命を延ばすために運動習慣や食生活の改善等に取り組み、健康増進の意識を高める。
- ★ 壮年期から高齢期まで参加できるスポーツ、各種の教室を実施し、楽しんで健康づくり・体力づくりに取り組む。
- 医療・福祉サービスの利用に対する意識を改める。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- 医療関係者に対して田原市の環境、物価等の良さをアピールすることで、田原市内における開業を促す。
- 気軽に利用できる運動の場、機会を設ける。
- 老人クラブ同士の交流の場をつくり、活動者を増やす。

- 要介護状態にならないための住民主体のサロンづくり、拠点づくりを行い、介護予防、フレイル予防に取り組むことで健康寿命の増進を図る。

行政の取組案

- 医学部希望者に対して経済的支援を行うことで医療従事者・人材の確保を図る。
- 新規で市内に開業する医療機関への土地、施設等への支援を行い、医療体制の充実を図る。
- オンラインにより、遠隔地でも受診できる、治療を受けられる仕組みづくりを促進する。
- 福祉・医療関係者に関する人材バンク等の登録機関を統一する。
- 介護保険のデイサービス以外にも、地域内で民間・公共の施設内での集いの場づくりを支援する。
- 「サーフタウン」を PR しながら、アウトドアスポーツ等に興味・関心がある福祉・医療人材を集める。

田原市の宝③ 子どもたちが心身ともに健やかに育まれる環境

市民の取組案

- 子どもへの教育において高齢者の知恵や経験を活かしたり、地域を舞台にした郷土教育の機会を増やしたりする。
- 地域で高齢者の活躍できる場所をつくり、子どもと交流する。
- ★ 子どもたちが、農村・野山・海・川の環境問題や SDGs を学ぶ機会をつくる。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- 部活動の廃止に伴う受け皿づくりや校外学習のサポートなどにおいて地域の力を積極的に活用する。
- ★ 地域と学校との交流を促進するとともに、市民館などにおいて子どもを含めた全世代で交流できる機会をつくる。
- 地域や学校で、福祉に対する理解を深める機会をつくる。
- 学校において、農業体験や工場などにおける社会見学の機会をつくり、地域の産業への理解を深める。

行政の取組案

- 定年後の保育士等の力を活用し、子育て支援に生かす。
- 多様な教育(次世代、ふるさと教育)を可能とする施設整備を行う。
- コミュニティスクール(学校運営に地域の意見を反映させながら子どもたちの成長を協働により支える仕組み)を活性化させる。
- 少子化による児童生徒数の減少に対応するため、国・県と連携して田原市の子育て環境・教育環境を整備する。さらに少人数学級の良さ、自然とふれあえる機会の多さ等、のびのびと子育てできる環境を拡充し、PR する。
- ★ 安心して子育てできる環境づくりのために、小児科の開業を促進するための支援を行う。
- Zoom などの ICT を活用し、遠隔でも様々な教育が受けられるような環境をつくる。

田原市の宝④ 祭り・偉人・文化・伝統が受け継がれる心

市民の取組案

- 祭りへ積極的に参加し、継承する意識を持つ。
- 御朱印帳を SNS にあげるなど、伝統・文化を広く発信する。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- 地域外の人でも、祭りに参加したいと希望する人が参加できるような仕組みをつくる。
- 田原市の偉人や文化、観光資源についてメディアを使って発信する。渡辺華山を主人公にしたドラマなどを作成し、功績を周知する。
- 地域の文化・名所・名産品等をデザインしたマンホールカードをつくるなど、簡単でわかりやすく文化等を発信する。
- 見た目に美しく、文化芸術を感じることができる環境を整備する。
- 地域や学校において、祭りや文化等を継承させる取組を行う。

行政の取組案

★ 学校において地域の歴史の授業を充実させる。

- 偉人・文化をモチーフにしたオリジナルキャラクター(ゆるキャラ)を募集するなど、話題になるためのしかけづくりを行う。
- 芭蕉の句碑(伊良湖)、日出の石門(「どうする家康」のロケ地)など、関心が高い場所を周知するためのパンフレットをつくる。

田原市の宝⑤ スポーツを振興できる充実した環境

市民の取組案

- 市民によるスポーツ活動を活性化させる。
- 「サーフタウン」を地域全体で盛り上げる。サーフィンなどに来る人を、迎え入れる意識を持つ。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- 学校の部活動に替わり、地域スポーツクラブ活動を活性化させる。
- トレッキングマップ(山歩き)などで自然を生かした活動を活性化させる。
- 田原市出身のスポーツ選手の周知・PRやマイナースポーツ団体の育成・支援を行う。
- 介護予防につながるスポーツ活動を活性化させる。

行政の取組案

★ より多くのサーファーが田原市を訪れやすくなるよう、廃校を利用するなどして、安価で安心して利用できるサーファー向けの宿泊場所をつくる。

- 田原市の自然を生かし、観光施設等と連携してスポーツツーリズムを活性化させる。
- アウトドアスポーツ、スケートボード、サーフィンなど、多様なスポーツに対応できる環境や観客席のある体育施設等(ドーム施設等)を整備する。

田原市の宝⑥ 女性がいきいきと暮らすことができる環境

市民の取組案

- 「おばあちゃんの SNS 人生相談」など、先輩女性の体験を通じた相談を行う。
- 男性が家事・育児・介護等に積極的に参加する。
- モデルとなるような、活躍する女性を広報・SNS 等で PR し、女性活躍の機運をつくる。
- スマート農業を推進し、女性が農業に参入しやすい環境をつくる。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- 企業は女性が働きやすい職場環境を整備する。
- 企業において、男性の育児休暇の取得を奨励する。

★ 小学校など、小さい頃から男女問わず育児・家事の体験を行うなどの教育を進める。

行政の取組案

- 身近な地域において低年齢児(0 歳児)を受け入れることができるこども園、保育園を増やす。一時保育等における予約の取りやすさ(インターネット予約等)、利用時間の柔軟さなども充実する。
- 子育てを支援する事業所、団体に対する表彰制度をつくり、子育て支援に力を入れることに対する動機付けを行う。
- アンケートの実施などを通じて、性別に基づく様々な格差の実態を把握し、男女が持つ課題を明確化にする。